

2007 年度末 サロン 2002 理事会 報告

【日時】2008年3月13日(木)～3月18日(火) ※昨年度は3月15日(木)～3月20日(火)

【会場】ネット空間(メールの交換で議事進行しました)

【参加者(会員)】

理事:麻生征宏 安藤裕一 田中俊也 徳田仁 中塚義実 本多克己

監事:齋藤健司

オブザーバー:運営委員…川井寿裕(会計) 湧田龍治(ML) 高田敏志・岸卓巨・室田真人(シンポジウム事務局) 宮川淑人・安松幹展(運営委員)

その他…両角晶仁(規約)

【出席】浅野智嗣(JSA 理事長) 麻生征宏(筑波大学附属高校非常勤講師) 岡野玄(1965年浦和生まれ／(株)毎日コムネット) 小出正三(SocioFiesta「Project2002」) 片岡麻衣子(LOVE JAPAN 代表) 中西敦(LOVE JAPAN メンバー／一橋大学早川ゼミ所属) 松本佳世子(NPO 法人日本サポーター協会正会員)

注) 理事・監事以外に、運営委員および規約担当者にオブザーバーとして加わっていただいた。

報告 1. 2007 年度事業及び決算(中間報告)

サロン 2002 規約第 3 条(事業)の各項目に照らして、概要を把握した。各項目の内容確認については、次回の総会(2008年5月)にて改めて行う。

1. 月例会

1) 通常の月例会 … 毎月開催できた。本年度は「日本サッカー史をさぐる」と「フットサル」を柱に据え、計画的に進めることができた。5月は総会のみだが、月例会回数に含んでいる。

昨年度から採用した「初回参加者の参加費は無料」の影響か、多くの初参加者を得たが、その分、月例会の決算としては赤字の見込みで、全体会計から補助する予定。

2) 出張サロン … 国内では 2 年ぶりとなる出張サロンを 3 月に高知県で開催する。この他、夏に長野県で開催すべく準備を進めていたが、日程の折り合いがつかず、実現できなかった。次年度以降の候補地の一つとしたい。

3) 公開シンポジウム … 「サッカー観戦を楽しもう!ースタジアム編」を 12 月 15 日に開催した。

現在、報告書の原稿確認の段階で、年度内に作成する(2007 年度名簿と同時に発送予定)。

シンポジウム参加者は 38 名。うち 29 名からいただいた参加費 29,000 円の収入に対して、支出は 149,533 円(会場使用料 98,983 円、演者謝金 30,000 円、演者交通費補助 20,000 円、コピー代 550 円)。差額の 120,533 円を、全体会計から補助する予定。

なお、2006 年度の公開シンポジウム「ドイツで感じたこと」の報告書を、2007 年 12 月 10 日に発行した。これは 2007 年度の事業であり、印刷代 197,400 円は 2007 年度に計上する。

2. プロジェクト … 「プロジェクト」を名乗っての事業はないが、公開シンポジウムはプロジェクト扱い。全体会計から補助金を拠出した。

3. サロンと目的を同じくする団体の事業への参加 … 特になし

4. ホームページの運営 … 月例会報告や公開シンポジウム案内など、更新に難あり（ここ数年、同じことが議事録に書かれている）。記載事項の誤りがなかなか修正されないこともあった。

「2007年度会員」は掲載されないまま今日に至る。これらは担当理事の単純なミスによるもので、HPにお詫びの一文を入れ、2008年度会員から新たに掲載する予定。

5. その他

・サロン通信は入会申請された全ての方に送信しており、現在 132 名いる。一方メーリングリストは会費を払った方みの登録となるが、現時点で会費納入者は 108 名。会費未納者はいつも問題になるが、今年も課題として残った。現在、会計担当が督促中（3月2日付で 37 名に対しメールで督促し、うち 13 名から会費納入済み。残る 24 名については再度督促中）。

・2月10日（2006年度）に続き、6月28日、10月18日に「関西サロン」が開催された。内容は、通常の月例会同様、ホームページに掲載されている。定期的な開催が今後も期待できるが、同時に「地方におけるサロン 2002 の月例会」の位置づけを明確化する必要がある。次回の総会（2008年5月）で議論したい。

・月例会にはカウントしていないが、12月13日に、堀切菖蒲園の「KOSUGE1-16 アトリエ」にて「いきなりのお出かけサロン」を開催した。

・「横浜スポーツコミュニケーションズ」の企画で缶バッジを作成、2007年度のサロン会員に配布された。

報告 2. 2008 年度役員について

役員任期は 2 年。2007～2008 年度が任期であるため、以下の役員は留任。

理事 … 麻生征宏 安藤裕一 田中俊也 徳田仁（副理事長） 中塚義実（理事長） 本多克己

監事 … 齋藤健司

報告 3. 公開シンポジウム内容の情報管理について

月例会や公開シンポジウムの内容は、サロン 2002 が著作権を有するものであり、関係者のチェックを経

た上で、公開できる範囲のものを報告書に掲載し、ホームページで公開している。この手続きや考え方については、12月15日のシンポジウムの際にも冒頭で理事長から説明があった。

にもかかわらず、ある参加者が、自身の属するNPOのホームページにおいて、独自に作成した「報告書」を掲載するという“事件”が発生した。その内容は、参加者自身の主観に基づく報告であり、一部誤解を招く記述もみられるものであった。

1月下旬に本件が発覚。緊急理事会を開く（メール上）とともに、理事長から当該団体に抗議、すみやかなる削除と謝罪を申し入れた。先方もこちらからの申し入れで、ことの重大さを感じたようで、当該文書は削除の上、謝罪。「二度とこういったことがないよう自戒します」とのことであった。

大事には至らなかったものの、今後へ向けての対応を検討する必要がある。次回の総会（2008年5月）で議題として取り上げたい。

審議 1. 出張サロン in 高知の旅費の扱いについて

今回の出張サロン in 高知へ向けては、すでに会員に次のような形で連絡済。

5月の総会では、「旅費については、18年度の理事会の出席者に旅費を支給したという経緯もありますし、出張サロンについても事業として入っているの、若干使えたらいいと考え」（議事録 p.17）、2007年度予算において15万円の旅費を計上しています。これは「理事会、出張サロン等への参加旅費」です。出張サロンへの参加旅費をどこまでサロンが負担するかについては難しいところです。現在、理事会で議論していますので、ご意見がある方はMLまたは理事長・理事に直接お伝えください。見切り発車かもしれないですが、今回の「出張サロン in 高知」については、何らかの基準に基づき、旅費の補助（若干）をしていくつもりです。

具体的な運用について理事会で議論したところ、今回については次のように扱うこととなった。

- 1) 「出張サロン in 高知」に参加する高知県以外の会員1名につき、上限3万円の旅費を用意する
- 2) 旅費の受給を希望する参加者は、3月28日（セミナー前日）までに理事長に申し出る。その場合は、何らかの任務（報告書作成など）を負うものとする。

<参考>

本件については、理事会の中で次のような意見が出ています。次回の総会（2008年5月）で、サロンの事業で生じる旅費（交通費・宿泊費）全般について議論していく予定です。

■何か任務がある場合、任務がある方にのみお支払いするということが良いかと思えます。参加する会

員全員に対してとなりますと、気軽に参加できなくなってしまうたり、途中参加を躊躇してしまうなど、かえって、出張サロンの盛り上がりを失ってしまうのではないかと懸念いたします（会計担当運営委員：岸卓巨）。

■出張サロンへの旅費の支給の件ですが、旅費を支給することに関しては19年度予算にも計上しており、全く意義ありません。ただし、支給対象者の範囲に関しては、検討する必要があると思います。総会時の議事録にもあるように、行きたい人に対して全て旅費を支給しては、いくらお金があっても足りません。やはり、サロン2002として何らかの任務を請け負っていただくので、旅費を支給するという考えは必要なのではないでしょうか。例えば、理事会であれば、理事又は幹事として、それぞれの立場から意見を述べていただき、今後の方向性等を決定するための任務を請け負っていただく訳ですから、当然必要な旅費は支給するということになります。出張サロンの場合も同様に、旅費を支給するためのそれなりの理由が必要かと思います。ただ、出張サロンに参加すること自体、サロン2002の会員代表として参加していただくという意味がありますし、あまり任務を意識して押し付けるというイメージになっては参加者が減ってしまうという恐れもあり、これらをどのように整理するかが今後の課題と思われます（会計担当運営委員：川井寿裕）。

■「任務のある者に支給」案に賛成です。「任務のある者」の定義がでてくるとはと思いますが、案として

1. 理事長、理事長が出席できない場合にはあるいは理事長に委任されたもの、
 2. 1以外に理事長に任命されたもので、1回あたり3名まで
- 領収書あるいはそれにかわるものを提示し（あるいは引き換えとし）、3万円を上限として旅費を支給する。

下線部分は皆さんのご意見をいただきたいところです。（安藤）

■旅費については、「任務のある者に支給」に賛成します。「任務のある者」については、安藤さん案にあるとおり、理事長指名でいいと思います。ただ、3名という人数の規定は必要でしょうか？（本多）

■出張サロン旅費については、「任務のある者に支給」案に賛成します。ただし個人の都合に応じてさまざまな経路、手段での移動等が考えられるのと、安藤さんの書かれた領収書の問題等があることから、例えば、宿泊を伴う場合は宿泊費として1万円などの「定額補助」（金額は距離等に応じてその都度設定）という形はいかがでしょうか。理事会等での「招集」、またはプロジェクト等での「派遣」の様な場合とは区別したほうがよいような気がします。（麻生）

■出張サロンへの「宿泊費補助」の件ですが、趣旨からすると通常は補助は不要と思います。しかし、なんらかの協力関係から「割引」や「優待」が設定できるのであれば積極的に会員に案内すべきと思います。しかし、サロンとして出席する必要のある場合（基準はまた別問題ですが）は、基本的にサロンの経費として全額負担すべきかと思います。このような場合は中途半端に経費を負担すると出席する立場が曖昧

になって後々めんどろなことになる可能性があります。(徳田)

審議 2. 2008 年度会員募集 (更新) 手続きについて

2007 年 5 月総会で、名簿の扱い、入会・更新手続きについてさまざまな意見が出された。「(中塚) 名簿の方も管理をしっかりすること。それに、書き方に関しては、次年度 (注: 2008 年度) になりますけど、ここは書かなくていいよというところをはっきりさせていきたいと思います。入会の際の必須要件と、そうじゃないものを整理して流す」(総会議事録 p.10) ことで一定の了解は得られたが、年度末の理事会で改めて議論した。

結論として、「2008 年度会員名簿の原稿を送る」と「2008 年度会費を納める」ことが入会・更新には必須。退会の意思表示をしない限り、会員は継続であるが、会費納入がサロン会員の義務であると同時に、名簿の更新は誰もがができる最低限の「GIVE」であるとの考えを確認した (従来通り)。

これに加えて、2008 年度の名簿原稿では、次の項目を記載事項とし、※印の項目を必須とした。

※	1) 氏名(フリガナ)
	2) ホームページに掲載できる自己紹介(掲載しない場合は「掲載しない」と明記する)
	3) 現在の職業
※	4) サッカー・スポーツとの関わり
※	5) 郵便番号および住所(自宅 or 勤務先 or その他。複数登録可)
※	6) 電話番号および FAX 番号(自宅 or 勤務先 or その他。複数登録可)
※	7) 電子メールアドレス(自宅 or 勤務先 or その他。複数登録可)
	8) 現在関心を持っているテーマ
※	9) 自己PRなど
	10) 検索性
	(1) 主に関わるスポーツ種目・文化活動(例: サッカー)
	(2) 関わり方(例: 少年サッカー指導)
	(3) 主たる活動地域(例: 東京都墨田区)

審議 3. 今後の日程

理事会に引き続き、ネット上で総会を開くこととする（例年通り）。

通常であれば、同時進行で「2008年度会員募集（更新）手続き」に入るところだが、審議Ⅱで取り上げた本件は「サロンに関する重要事項」であると考えられるため、総会での議決が必要。したがって、2008年度の会員募集は、総会終了後に行うこととする。

今後の日程は次のとおり。

2007年度末理事会期間 … 3月13日（木）～3月18日（火）

（2006年度は3月15日（木）～3月20日（火）、2005年度は3月10日（金）～3月18日（土））

2007年度末総会期間 … 3月19日（水）～25日（火）

（2006年度は3月21日（水）～3月28日（水））

2008年度会員募集期間 … 3月26日（水）～4月21日（月）

（2007年度は3月21日（水）～4月21日（土））

2007年度名簿発送 … 5月連休後（総会前）

2008年度総会 … 5月10日（土）前後 or 5月17日（土）前後

（2006年度は5月20日（土）、2007年度も5月20日（日））

以上